

質問順位	12	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨		メモ
1. 市長の基本姿勢	1. 市政運営について	1. 新年度を含め今後の市政運営に向けての基本的な考え方について伺います。 コロナ禍の中での発言は軽々と出来ないものと思いますが、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がベースのまちづくりを目指すものと考えるところです。将来人口が減少する見通しの中で、山積する滝川市の課題解決に向けて継続事業を含め、以前にも確認していますが、全てに取り組むのではなく、優先順位を洗い出して集中的に取り組む必要があると考えるが、優先度の高いと考える事業は何か伺います。		
2. 税行政	1. 市税について	1. 市税について伺います。 税外収入のふるさと納税が順調に推移していますが、コロナ禍の中で市税の11月現在での収納率は前年比でどのようなになっているか伺います。 また、12月は税の徴収月間となりますが、本年についてはどのように実施していくのか伺います。 更に、広報12月号には税に関しての相談を行うことが掲載されており、その中で税の猶予制度を紹介していますが、納期限から最長1年猶予するとした場合の影響はどの様に捉えているのか伺います。		

質 問 順 位	1 2	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
3. 保健福祉行政	1. 障がい者の雇用について	1. 障がい福祉サービスにおいては、就労継続支援A型やB型など様々な支援があり、利用される方は、それぞれの障がいの程度に応じて、就労の機会が提供され、能力向上や一般就労に向けた支援が行われる仕組みになっています。このことは、いきなり一般就労に就くことが困難な障がい者の方々にとって、非常に有効な取り組みとなっていると考えるところです。 しかし、こうした支援を行う事業所による不正受給の報道が後を絶ちません。障がい者支援に対し滝川市として不正受給に関しての情報収集や行政指導がどのような姿勢で行われているのか伺います。		
4. 市立病院	1. 経営改善計画について	1. 経営改善計画の重点的取り組みとして、令和5年度に単年度黒字化をテーマとして掲げています。コロナ禍において入院患者、外来患者、新規来院者が著しく減少している現状から収支のバランスがなし崩しの状態と危惧しています。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で令和5年度までの黒字化の行程には大きく支障が出てくるものと推察するところです。単年度の修正を図り、医療体制の維持を含めた更なる改善の見直しが必要と考えるが、次年度に向けて考えている具体的な取り組みについて伺います。		